2025年　6月　21日

社会福祉法人新よどがわ

木川第２保育所

2024年度（令和６年度）事業報告

51年目――業務委託14年目の保育より

木川第２保育所は５１年目になり、法人が委託してから14年目の保育が終了しました。建物や備品の老朽化により、別棟(旧子育て支援センター)1階の雨漏りについては、大阪市へ報告から約２年、やっと令和７年９月頃より修繕が始まる予定となりました。園舎の漏水については、市の方で動いていくことは認められてはいるが、設計業者が見つからず、修繕できていない状況です。隣の木川第一住宅の取り壊しについては、現在、予定より２ヶ月延びて、６月末頃に終了する予定です。保育所の修理、修繕等は今後もさらに必要になる状況が予想されます。子どもにとって安全を考慮した部分の修理、修繕を行い、子どもたちの保育環境と職員の労働環境を改善できるように努め、より良くしていきたいと思います。

今年度は、新規採用１名の入職がありました。しかし、職員配置基準は満たしているものの５月から２名、１０月から１名が産休に入り、代替えとしてフルタイム職員の確保が難しく、職員一人ひとりが力を出し合って保育をしてきました。その中で、園内で研修を行うなど、職員同士が一緒に保育を学び、共有し、保育を考え、子どもの育ちを喜び合う関係を大切にしてきました。ベテラン職員、中堅職員も自分の役割に責任を持ちながら、若い職員とともに育ち合える気持ちを持った関係の中で、職員集団の向上につなげていきたいと思います。

様々な環境のなかで、運動会や参観日など日程を変更し計画するなど配慮してきました。保育内容や運動会や発表会などの節目と大きな行事など、子どもにとって良かったことは継続していけるよう、保護者の声やアンケートをもとに改めながら、職員会議で検討し行ってきました。子どもたちの発達と成長を保障し、今後もどんなことができるのか、職員で力を合わせ、工夫をした保育を行っていきたいと思います。

２月、公設置民営保育所は、初めて指導監査を受けました。指摘事項については、早急な改善に努めます。

１．子どもの入所状況

０～５歳までの年間入所

月	もも	たんぽぽ	ばら	すみれ	ゆり	きく	合計	途中入所　/　退所
4	6	１５	２０	２２	２２	１７	１０２	
5	6	１５	２１	２２	２２	１７	１０３	２歳２名　/２歳１名
6	6	１５	２１	２２	２２	１７	１０３	
7	6	１５	２２	２２	２２	１７	１０３	２歳１名
8	6	１５	２２	２２	２１	１６	１０２	/４歳１名・５歳１名
9	6	１５	２２	２２	２１	１６	１０２	
１０	6	１５	２２	２２	２１	１６	１０２	
１１	6	１５	２２	２２	２１	１７	１０３	５歳１名
１２	6	１５	２２	２２	２１	１７	１０３	
1	6	１５	２２	２１	２１	１７	１０２	/3歳１名
2	6	１５	２２	２１	２１	１７	１０２	
3	6	１５	２２	２１	２１	１７	１０２	
合計	７２	１８０	２６０	２６１	２５６	２０１	１２２９	

＊障がい児状況…2歳児　1名　3歳児　4名　4歳児　4名（内1名1月退所）　5歳児　1名

2．職員体制と職員の状況

職員

新規採用者　1名　中佐古菜々美（大阪こども専門学校）

正規職員…15名　所長1名　副所長1名　主任2名（乳児・幼児）　保育士8名（内、産休5月～1名、10月～1名）栄養士1名　調理師2名（内、産休5月～1名）

常勤パート・パート職員…19名

・常勤パート…保育士1名

・短時間パート…保育士2名（週3日5.5h1名、週5日6.0h1名）　保育補助13名〔朝・夕10名・学生3名（内、週3回7.5h1名）〕調理補助3名・環境整備1名

・派遣職員…3名　保育士3名（内、週3日5.5h1名・週3日3.0h1名・フルタイム1名）

途中入職者…短時間パート4名（週3日6.0h1名、週1日6.45h1名、週5日7.5h1名、学生1名）
派遣職員2名（内、フルタイム1名、週4回1名6月中旬～8月上旬まで契約1名）

途中退職者…短時間パート学生1名（10月末）

嘱託医師

内科　きど内科・小児科クリニック（木戸正訓）　大阪市淀川区十三東4－13－41－101

歯科　医療法人　粧歯会　もり歯科医院（森　光示）　大阪市淀川区三津屋北1－16－13

3．子どもの安全と健康・危機管理

①感染症対策には基本的に子ども、保護者、職員ともに手洗いを徹底する。また、感染症週報（大阪市）等を確認し、感染症流行を把握するようにした。

②インフルエンザ等の感染症や発熱など、増加傾向の時は、保護者に“よい子ネット”で状況を一斉メール送信で知らせ、子どもの体調観察や早めの受診をしてもらうようにした。「今、流行しているようなのでわが子も家で様子見ます」「受診します」と、欠席するなど感染防止の対策をとることができた。

③保健業務は所長と副所長とで実施、対応してきた。毎月、身長・体重測定実施後や健診を終了した日に“けんこうてちょう”に結果を記録し、保護者に返却し確認してもらった。

④通院したけがの状況（5件）は別紙にて。首から上のけがは病院へ受診。

⑤安全計画・保健計画を職員会議で確認し、安全や危機管理の意識を高めた。

⑥事故防止のため、ヒヤリハットから振り返りを行った。

⑦年度初めには門扉付近の事故防止を重点的に、安全のためのお知らせ『門の出入りはお子さんと一緒に！』を掲示、配布し、送迎時の門扉付近でのルールを保護者に伝える。また、年度初め1週間は、降所時に職員が門前に付き、様子を見て口頭でも伝えた。

⑧毎月の避難訓練、消防署による救急救命講習（7月）、消防訓練（10月）地震・津波（1月）を実施。SIDSについて、プール水遊びを行うにあたってなど保育中の事故防止についてのマニュアル確認を行った。

⑨山匠工房にて、安全点検（園舎、園庭）を行った。安全チェックシートを作成し記録した。

4．保護者の願いに応え、子どもとともに育ちあう関係を大切に

①隣の木川第一住宅取り壊しが始まるにあたって、騒音、熱中症の予防対策もふまえて開催時期を10月から6月に変更し行った。3クラスずつ（1部0・2・4歳児）（2部1・3・5歳児）の2部制で行い、取り組

みのなかで各年齢の子どもの成長や乳児と幼児の関わりを見てもらうことができた。座席２名分、立ち見自由席として２名を追加し、各家庭４名までの参加として行った。

②運動会を６月に変更したことで、６月に行っていた「保育参観・懇談会」は、懇談会を４月に行い、新年度の子どもたちの様子や１年間の保育目標や主な取り組み、子どもの発達や育ちなど伝えられる機会とした。仕事を休んでいただくことなく参加していただけるように夕方 4：30～17：15 の時間帯に行ったが、各クラス３分の２程度の参加だった。懇談会の参加を促せるよう、今後も職員会議で検討が必要。保育参観は、「保育参加参観」に変更し、１月の子ども達の行事「冬のあそび会」を２日に分けて行い、かるた大会などお正月遊びを保護者も一緒に楽しんだ。

③保護者の願いに応えられる機会を大切に、運動会にむけて、５歳児クラスに「竹馬の貸出しアンケート」をとり、大多数が希望したため、貸し出しを行った。「週末、三国本町公園はきくぐみだらけでした」と聞き、保護者もともに取り組む機会となった。また、10 月の運動会に向けて取り組んでいたフラフープ（4歳児）、縄跳び（５歳児）を秋に取り組んでいると、「見られたら嬉しいです」「楽しみにしていました」という声を何家庭にも聞いたので、職員会議で検討し、４歳フラフープ、５歳縄跳び参観を行った。

④保護者会を年３回行った。子どもたちの行事にハロウィンがあったらいいという意見があり、保護者会とともに取り組んだ。ハロウィンのコスチューム、お菓子等保護者会が用意。保育所としては、保育の中で地域の方に協力していただき、子どもたちがお菓子をもらいに出かけるなど楽しんだ。

⑤保護者会主催により、５歳児クラスの保護者、子どもの『親子ふれあい会』を 12 月に開催。保育所で 14 時～15 時の時間帯に行った。保護者会から５歳児保護者の方以外の方１名と所長、副所長、５歳担任、フリー保育士などが協力し行った。全家庭の参加があった。昨年から継続しており、保育所としても開催にあたってサポートしている状況だが、内容を考えること等、少しずつ保護者会が主体的に行えるようになってきている。

⑥１月、保護者会と保育所共催で“クラルテ人形劇鑑賞”を楽しんだ。保護者会とともに初めてこのような企画を行うことができた。保育所では狭く、会場を探すなかで、実習生等の受け入れを積極的に行っている大阪保健福祉専門学校にホールを借りられる協力を得られることができた。また、養成校より、当日、学生のボランティア活動の依頼を受け、数名の学生に会場案内や会場設置、片付けなど手伝ってもらった。クラス別でみると、参加の少ないクラスもあったが、参加した方に「人形劇なんて初めて見ました」「おもしろかったです」「子どもがキャッキャッ笑って観ていました」と感想をいただきました。保護者と職員、地域の養成校と関わり合える交流の場となり、みんなで楽しむことができた。

５．地域に根ざし、地域に必要とされる保育園をめざして

①所庭開放日の参加はなくなり、随時の園見学希望者ばかりだった。積極的に受け入れ、55 名の見学申し込みがあり年々増えている。

② 保育実習学生やボランティア、学校の授業によるとりくみなども積極的に受け入れた。

【保育実習生】

・大阪成蹊短期大学　8 月 19 日～8 月 30 日　1 名　2 月 3 日～2 月 14 日　1 名　3 月 10 日～3 月 21 日　1 名

・大阪保健福祉専門学校　10 月 7 日～10 月 18 日　1 名　10 月 17 日～10 月 28 日　1 名

・大阪こども専門学校　8 月 13 日～8 月 23 日　1 名　2 月 17 日～3 月 3 日　1 名

・日本メディカル福祉専門学校　1 月 9 日～1 月 23 日　1 名

【その他受け入れ】

・大阪保健福祉専門学校　スマイルプロジェクト　9 月～8 名　12 月～8 名　計 16 名

・大阪こども専門学校　保育観察実習（5日間）　2名

・高校生保育の職業体験事業　（5日間）　計5名

7月29日～8月2日　大阪府立東淀川高等学校　1名・大阪府立大正白稜高等学校　1名
8月 5日～8月9日　大阪府立吹田高等学校　2名・関西大学第一高等学校　1名
8月17日～8月22日　大阪府立吹田高等学校　1名

・職業体験実習　11月7日・8日　大阪市立三国中学校　10名

6．職員の資質向上をめざして

①研修に参加し学びを大切にする。リモートで参加のものもあるが、積極的に現地に参加する。園内研修も行い、学びを共有する。

年齢別保育講座　6名（希望者）
領域別保育講座　2名（希望者）
キャリアアップ研修　2名（園から提示）

【宿泊をともなう研修】

全国保育問題合同研究集会　1名（園から提示）　リモート参加9名（希望者）
全国保育問題研究集会（北海道）　1名（園から提示）

【園内研修】

・年間保育計画作成・年間総括について学習…大阪大谷大学　長瀬美子先生〔参加者〕正規職員
・1～4年目学習…保育現場での気づきと感動・『乳児の発達』丸山美和子〔参加者〕1～4年目職員・所長
・代表者学習…『ルポ誰が国語力を殺すのか』〔参加者〕主任・給食代表者・副所長・所長
・発表会にむけて…山岡喜美江先生より学習
・職員会議にて、『ちいさいなかま』から学習

②正規職員は年2回（7月・1月）、自己評価チェックリストに基づき、面談を行った。パート職員は年度末に面談を行った。年度末には全職員『人権擁護のためのセルフチェックリスト』にとりくみ、言葉遣いや言葉がけ、子どもへの働きかけを振りかえり確認した。

③法人研修は、2歳児と5歳児クラスが実践を報告。描画、表現活動について学ぶことができた。

7．中長期計画について

（人材）

① 職員育成の為、園内研修を行い共通の学びを大切にした。保育だけでなく、職員の内面の共有も大事に、要となる主任の育成と役割を発展、向上させていけるよう、毎月、定期的に会議を行い現場の状況を共有、方法や手立てを考えた。

② 保育士確保のため養成校と関わりを大切に、実習生や、学生が保育所で保育を見学、体験するとりくみなど申し入れについて積極的に受け入れた。学生アルバイト採用にもつ3名つなげることができた。また、中学生、高校生の職業体験も積極的に受け入れた。

③ 保育所の未来を考える話し合いを、主任2名、給食代表者1名と蔵重、覚前の5名で行った。今後も未来に展望を持ち、保護者の力も含め、職員みんなで民間移管に対応できるように話し合っていく。

（修理・修繕関係）別棟1階の雨漏りの一時的な補修を行った。

（財政）民間移管に向けて大阪市との契約事項を弁護士に相談した。財政計画についても、今後も会計事務所に相談し見直しながら法人全体で考えていく。

2024年度・けがの状況

日時	対象児	けが発生時の状況	けがの状況・処置
8/21	1歳児・男児	部屋で歩いていてバランスを崩し、おもちゃ棚にぶつかって左耳上を打つ。	左耳上が少し膨らんでいた。アイスノンで冷やす。病院を受診する。
9/19	0歳児・女児	部屋で机につかまって立っていた時にバランスを崩し、机で顎を打ち、舌を噛む。	舌から出血していたのでできるだけ出血している部分をティッシュで抑え、すぐに病院を受診する。
12/2	4歳児・男児	所庭で他児を追いかけ、後ろから抱きつきに行って他児とともに転倒。	左肘の痛みを訴えたので、動かさないようにしながら病院を受診する。
12/4	5歳児・女児	所庭の砂場の支柱を右手で持ちくるっと回った時に右手が滑りこけて地面に左手をついた。	左腕の痛みを訴えた。痛みがあるところはアイスノンで冷やし、動かさないようにしながら病院を受診する。
12/20	4歳児・男児	テラスで歩いている時にこけて口元を打つ。	上唇から出血している部分をティッシュで押さえた。出血が止まってきたらアイスノンで冷やす。病院を受診。

令和6年度　栄養報告書

＜施設名＞木川第2保育所
＜所在地＞大阪市淀川区三国本町1-13-16
＜電話番号＞06-6393-4171

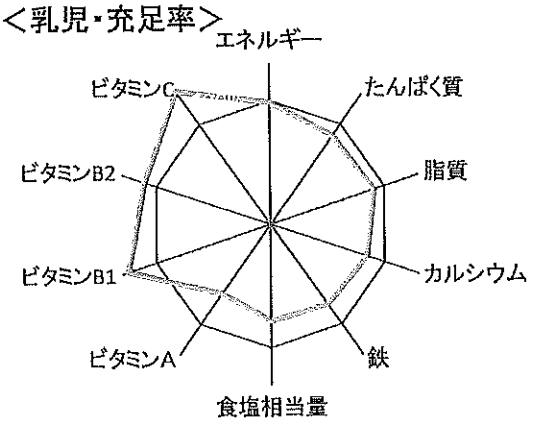
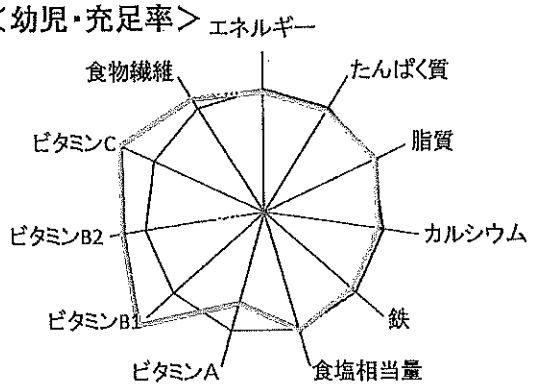
＜設置者(職・氏名)＞　所長　覚前　真紀子
＜給食責任者(職・氏名)＞　調理師　菅原　亜由子
＜作成者(職・氏名)＞　栄養士　小川　聖

＜ 期 間 ＞　令和6年4月1日～令和7年3月31日

	3歳未満児（乳児）			3歳以上児（幼児）		
	栄養目標量	給与栄養量	充足率	栄養目標量	給与栄養量	充足率
エネルギー (kcal)	463	456	98.5%	511	499	97.7%
たんぱく質 (g)	18.0	15.9	88.3%	20.0	19.4	97.0%
脂質 (g)	14.0	12.7	90.7%	15.0	15.3	102.0%
カルシウム(mg)	213	179	84.0%	231	220	95.2%
鉄(mg)	2.0	1.6	80.0%	2.0	1.9	95.0%
食塩相当量(g)	1.4	1.1	78.6%	1.4	1.4	100.0%
ビタミンA (μgRE当量)	188	130	69.1%	200	154	77.0%
ビタミン B1 (mg)	0.20	0.25	125.0%	0.20	0.28	140.0%
ビタミン B2 (mg)	0.28	0.31	110.7%	0.32	0.38	118.8%
ビタミンC (mg)	18	24	133.3%	16	21	131.3%
食物繊維 (g)	－	3.0	－	3.2	3.5	109.4%

エネルギー産生栄養素バランス（%エネルギー）	目標率	給与率	充足率
たんぱく質	16	15.5	96.9%
脂　　質	27	27.5	101.9%
炭水化物	57	57	100.0%

＜乳児・充足率＞



＜幼児・充足率＞